

1 プロジェクト内容

(1) プロジェクト名	健康促進！笑顔満開！プロジェクト
(2) プロジェクトの成果（※そのような成果が得られたかについて具体的に記載）	
<p>目的：「健康促進！笑顔満開！プロジェクト」により、瀬戸地域に住む高齢者が、自身の健康状態に関心を持ち、今後の健康活動へとつなげていくことができる。さらに看護学生との世代間交流を通して、健康の維持向上につなげることができる。</p> <p>結果：サロン責任者の方から、「高齢者の方は、みな楽しかったと言っている」と確認し、高齢者の方からは、「孫と一緒にいるみたいで元気をもらっている」「生徒さんたちの話がわかりやすく勉強になった」などの声が聞かれた。さらに人生の後輩への温かい励ましの言葉などをいただいた。看護学生からは、今回出会った高齢者の方と6か月後の再会を約束している学生や「教科書通りだったことや初めて学んだことがたくさんあった」「話の内容は明るい話題もあったが、戦争など自分たちの知らない時代の話も聞くことができ新鮮だった」「元気に暮らしていくためには、生活習慣はもちろんです、人と話すことが大切と感じた」などの感想があった。</p> <p>考察：瀬戸地域の高齢者と看護学生との交流では、一緒に行くことで楽しく元気に健康について考えることができていた。高齢者自身が目標として転倒予防、栄養摂取などを考えており、毎日の生活の中での健康活動へとつなげていくことができているのではないかと考える。看護学生との世代間交流を通して、高齢者の健康の維持・向上のために少しではあるが支援できたと考える。看護学生は、高齢者と接し、自分の想像以上に元気で暮らしていることに感動し、健康についての長生きの秘訣なども聞いていた。看護学生には経験のない知識の習得や学習したことを生かす実践の場であり貴重な体験となった。</p>	
(3) プロジェクト実施内容（※事業の実施方法、時期、場所、回数、市民への周知方法、参加人員等を含め、その内容を具体的に記載）	
<p>対象：瀬戸市の『サロン・まごころ』（結、ひだまり、ふれ愛）に参加している高齢者の方々</p> <p>実施方法：学生が瀬戸地域の高齢者サロンへ出向いて、高齢者の方と一緒に健康測定（血圧、骨密度、口腔機能等）簡易的フレイルチェックを実施した。測定時は、お互いにコミュニケーションをとり、自身の健康観や普段の生活など、一緒に語り合える場とした。その後、転倒予防のミニ講義と体操を実施した。さらに5か月後に再測定をし、継続して測定を実施した。</p> <p>「サロン・まごころ（結、ひだまり、ふれ愛）」3か所の施設との連絡を取り、調整した。それぞれのサロンに学生4～6名、教員2名程度訪問した。施設の規模、参加者の人数に応じて訪問人数は調整した。</p> <p>プロジェクトの参加人数は以下のとおりである。</p> <p>2023年8月31日ふれ・愛： 参加高齢者 6名 世話役3名 看護学生4名</p> <p>2023年9月6日 結： 参加高齢者 8名 世話役3名 看護学生6名 高齢福祉課1名</p> <p>2023年9月12日ひだまり： 参加高齢者 6名 世話役3名 看護学生4名</p> <p>2024年1月30日ひだまり： 参加高齢者 7名 世話役4名 看護学生4名 その他5名</p>	
(4) プロジェクトの今後の課題と展望	

今回、「サロン・まごころ（ふれ愛、結、ひだまり）」のサロンに訪問させていただき、高齢者の健康測定と高齢者と健康について計画通り介入し交流を実施した。高齢者と学生は、世代間交流からの深い学びができていた。高齢者の健康状態の把握のためには、継続して高齢者の変化を経過観察していくことができると良いと考える。第1回目は、3か所の実施が可能であったが、2回目（5か月後）は、他学校と日程が重なり1か所の実施となった。次年度は計画的に訪問日を決めて実施できるようにしていきたい。

(注) プロジェクトに関する参考資料がある場合は、A4サイズで添付してください。